

21 しら はっぴょう 調べたことの発表

場面：日本語学校の教室での会話

状況：教師が授業の概要を説明する。男子学生が調べて来たことを発表する

登場人物：A（女性、教師）、B（20代男性、学生）

A：えー、ではこれから、宿題の発表をしてもらいます。宿題は「歴史について調べて、発表する」というものでしたね。

では、ピムさん、よろしくおねがいします。

B：はい。今日は「日本のカレーライスの歴史」について発表します。

日本ではカレーライスはとても人気のある料理のひとつですが、もともとは日本の料理ではありません。どこから来たのか、どのように変化してきたのかを調べました。

まず、日本のカレーライスですが、白いご飯の上にドロツとしたカレーがかかっています。カレーはスープではなく、とろみがあります。それをスプーンで食べるのが、一般的な日本のカレーライスです。

カレーの起源はインドです。インドでは、たくさんのスパイスを使って、いろいろなカレー料理が作られています。しかし、日本で食べられている「カレーライス」とはかなり違いますよね。実は、日本のカレーライスは、インドから直接来たのではなく、イギリスを通して伝わったのです。

19世紀、イギリスの人たちはインドのカレーの味をもとに、「カレーパウダー」を作りました。そして、それを使ったカレーのような料理が「カレー」としてイギリスの中で広まりました。

その後、明治時代に日本にヨーロッパの文化が入ってきたとき、この「イギリス風カレー」も日本に紹介されました。これは、スープのような料理でした。しかし米を食べる日本では、カレーを米の上にかけて「カレーライス」という料理に変化させました。ライスとは、米のことですね。カレーライスは安くて栄養があって、ごはんと合うので、軍隊や学校の食事として使われるようになりました。

そして、日本の米と合うように、小麦粉を入れてとろみをつけたり、日本人が好きなにんじんやじゃがいもを入れたりするようになりました。さらに、簡単に作れるように「カレールウ」というカレーが簡単に作れるスパイスが発売されてからは、どこの家でもカレーライスを作るようになりました。

カレーライスはインドのカレーがイギリスを通過して、日本で独自に発展した料理です。今では、レトルトカレーやカレーパン、カレーうどんなど、いろいろな形に変化して、日本の人気のメニューのひとつになっています。

以上で発表を終わります。ありがとうございました。